

ブーンカウンティスクール学区のご家族の皆さま

先週水曜日に始まった 2021～2022 学年度の始まりは、私たちの学校での活動やイベント満載のエキサイティングな週でした。各校の校長からは、今学年度が好調にスタートしたと報告され、毎年始業時に頻繁に発生する問題のいくつかを解決するために各学校で取り組みを行っています。また、このほかにも校長や先生方からも、生徒との間でおきた素晴らしいエピソードを数多く聞いています。先生やスタッフを応援してくださった保護者の皆様、ありがとうございました。

私たちは新型コロナウイルス検査で陽性となった生徒とスタッフの症例数、また感染者との濃厚接触（ウイルスに曝された場合）があり隔離された生徒とスタッフの数など、学校毎の最新情報を学区のウェブサイトにて毎日掲載します。先週の学区全体の合計は、感染した生徒が 53 件、スタッフが 7 件あり、86 人の生徒と 1 人のスタッフが隔離されました。ご参考までに、私たちの学校には約 21,000 人の生徒が在籍しており、約 4,000 人の従業員がいます。

注釈として、私たちの校舎と施設ではそれぞれ、生徒と従業員の健康を維持し、学校内のウイルス拡散を最小限に抑えるために、階層化された緩和方策を導入しています。これら緩和方策の中には次の項目が含まれます。

1. 対象となるスタッフと生徒への自発的な新型コロナウイルスワクチン接種の提供。
2. 必要に応じて、対象となるスタッフと生徒へ自発的な新型コロナウイルス検査の提供。
3. スタッフまたは生徒に発熱または微熱（悪寒、発汗など）、新たな咳、呼吸困難、喉の痛み、筋肉または体の痛み、嘔吐または下痢、新たな味覚または臭いの喪失などが見られた際の自宅待機の徹底。
4. 校舎内およびバスの中で可能な限りの実質的なソーシャルディスタンス。
5. 校舎および施設内でのフェイスマスク着用。
6. 定期的な手洗いと咳やくしゃみの際の覆いの徹底。
7. 感染者との濃厚者追跡と隔離の徹底。
8. 施設内、特に接触の多い場所や交通量の多い場所の定期的な清掃と消毒。

私たちの優先事項は、今学年度を通して、生徒に毎日対面指導することです。また、生徒たちが提供されている多くの学校の活動や運動活動に実際に参加して楽しむことができるようにしたいと願っています。この優先事項を達成するには、上記の新型コロナウイルス緩和方策への皆さまからの支援と関与が必要です。残念ながら、ケンタッキー州の学区の中には、多数の陽性症例と隔離数のために学校閉鎖を余儀なくされている学区もあります。私たちは今までの経験から、私たち一人一人がこれらの安全衛生プロトコルに共に従うことで、自身と互いの安全に保ち、学校閉鎖の可能性を逃れることができることを知っています。

ブーンカウンティスクール学区は、学校施設内でのフェイスマスクの着用を義務付けるケンタッキー教育委員会によって可決された KY 管理規則(702 KAR 1:195E)に従っています。ベッシャー知事は、ケンタッキー州最高裁判所が下した上院法案 1 / 下院法案 1 および HR77 に対するスコット郡およびフランクリン郡での差止命令の付与を取り消した後、知事による行政命令を取り消しました。私たちは近日の法的措置が多い事から、今後も継続して状況を注意深く監視していきます。

この数週間の中に多くの学校を訪問した際に見た私たちのスタッフと先生方の取り組みに敬意を表したいと思います。彼らは生徒や同僚を深く気遣い、すべての生徒たちを援助するために一生懸命働いています。

何年も前に教育者のリック・デュフォアによって提起されたある質問は、現在の私たちの教師、スタッフ、そしてすべての人にとって非常に重要です。「生徒が優しさ、思いやり、忍耐、誠実さについて考えるとき、…彼らはあなたのことを思い起こしますか。」この質問は、生徒が自分たちの生活の中で大人を見ることによってどのように学ぶか、そして私たち自身の行動の中から子供たちへの模範を示す力としてとても重要だと考えます。

これからも子供たちが学校で過ごす時間を素晴らしい体験にしていきたいと思います。

敬具

Matt Turner